

Rich Dad Poor Dad Letter

Robert Kiyosaki

6月号 Part2



経済危機から脱出することは できるのか？

- ・「新しい世界」に備えるためのアドバイス
- ・天才投資家ジム・ロジャーズが注目する資産とは？
- ・未来の世界経済における成功する国と衰退する国の違い

※この内容は 2020 年 6 月 10 日に公開されたラジオ番組の対談形式のもので、その時点の情報で話されています。

ロバート・キヨサキ（以下、ロバート）：

こんにちは。ロバート・キヨサキの The Rich Dad Radio Show。お金に関する良いニュース悪いニュースをお届けします。

今日は特別ゲストをお迎えしましょう！リッチ・ダッド・カンパニーの古くからの友人で、とても悪名高い、ジム・ロジャーズ（以下、ジム）です。彼は有名なだけではなくて、悪名高いんです！彼は、自分からはあまり言いませんが、10年間で40倍以上のリターンを出したクォンタム・ファンドでジョージ・ソロスのパートナーをやっていました。そして、彼らは世界の投資界の中でも最も優れた人物だったんです。彼らのパートナーシップに何があったのかは知りませんが、彼はなぜかそのことを話さないんです。ただ、ジムとはとても良い友人になりました。私が初めて彼に会ったのは1998年だったと思いますが、彼はスティーブ・フォーブス、ジェームズ・デイル・デビッドソン、ロード・リース・モグと一緒にワシントンD.C.で世界経済について話していました。そして、ジムですが、後ほど彼に話を聞くとして…彼はとてもワイルドで、紳士的な人物です。

彼は、BMWのバイクに乗って世界中を走り回っています。ロシア、中国、アフリカ、南米を横断して、同じことを今度はベンツでもやって世界を見てきました。今日は、そんな私の友人であるジムに話を聞いてみましょう。私は、投資会議やフリーダムフェストで彼によく出会います。彼にはぜひ、今の世界をどう見ているのかを話してもらいましょう！

今の世界は2020年1月から劇的に大きく変わっています。そんな時に、私の友人であり、金持ち父さんの友人でもあるジムに、今の世界をどう見ているのかを語ってもらえるのは本当に光栄なことです。

ジム、早速一つお願ひがあるのですが良いですか？

ジム：何でもどうぞ。

ロバート：著書の『Investment Biker』を書いた時のお気持ちを皆さんに話してもらえませんか？それが現在の世界にも当てはまると思うので。バイクで世界を一周したこと、今では予言的なものになっています。

ジム：ロバート、私はアラバマの僻地で育ちました。だから、いつも世界を見たいと思いながら育ってきたんです。世界には何か他のことがあると思っていたし、幼い頃から、バイクで旅をすることが世界を見る最高の方法であり、最高の冒険だと思っていたんです。だから、人生の大半をバイクで世界一周したいと思っていました。少しクレイジーかもしれないですが。そういうしているうちにやっとお金が貯まってきた。

それから、ソ連や中国の許可を得るのに時間はかかりましたが、私はなんとしてでも正式な方法で行きたかったんです。そして、やっとの思いで許可を得ることができました。そして出発したのです。

それから、どんな理由であれ帰国した際には、世界で見たことをすべて書き留めることにしたのです。

ええ、冒険というのは、この本の表向きの理由でした。しかし、この本の本当の目的というのは、世界で何が起こっているのか、何が起きてきたのかを伝えることでした。

なぜなら、あなたもよく知っているように、多くの場所で間違いが犯されてきたし、今も間違いが犯されているからです。知っている人は知っていると思いますが、私はそれをすべて書き留めておきたかったのです。これまでにバイクで世界一周をして、世界について書き残した人は誰もいませんでした。だから私がそれをやって人々に世界について伝えたいと思い、世界を一周したんです。

そしてあなたがよくご存知で、よく指摘するように、今日に至るまで世界は多くの間違いを犯しており、同じ種類の問題を起こしているんです。しかし、ロバート。あなたは賢くて年もそれなりに重ねていますから、世界は常に間違いを犯してきたこと、そしてこれからも間違いを犯すということはお分かりですよね。

ロバート：とにかく、私はそれが予言的だと思ったんです。バイクに乗ってアフリカや世界中を走り回るのにどれだけの勇気が必要だったことでしょう。そして、ベンツに乗って2度目と。ここで世界がシャットダウンされたんですよね。つまり、今は身動きが取れないということですね。今日はありのままでお話しして頂ければと思います。私がガイドするつもりはありません。あなたが見た世界で起こっていることをそのままお伝え頂ければと思います。

ジム：そうですね。少なくとも私の見解では、今起こっていることとしてウイルスに対する大きな反応があります。それは、個人的には過剰な反応だと思っています。以前にもパンデミックがあり、直近では2009年にアメリカでH1N1インフルエンザが発生しました。しかし、その時にはマクドナルドは閉鎖しなかったんです。デルタ航空は飛行を中止しましたけどね。こういうことは以前にも起こったんです。何らかの理由で、数ヶ月前に政

治家かメディアか誰かが過剰に反応し始め、今では世界中が閉鎖されているんじゃないでしょうか。

時に、「安全」は病気よりも悪であることがあります。ウイルスに感染するのが素晴らしいことだと言っているわけではありませんよ。決して、「病気になったり死んだりするのは素晴らしいことだと思う」と言っているわけではありません。

私はウイルスに最も弱い年齢層にいます。最初に戻ってやり直して、冷静になり、もっと合理的な方法でウイルスに対処できればいいのに、と思います。

世界は本当に苦しい局面に立たされていきます。ワシントンに限らず、どこの国でも、政治家が驚異的な量のお金刷り、驚異的な量のお金を使っていますよね。日本では毎日、日銀の頭取が印刷機を回して、全力でお金を刷っています。ETFを買い、債券を買い、今では株を買う許可まで得ています。毎日、できる限りたくさん量を買い込んでいるんです。

そして、アメリカは史上最大の借金大国になっているんですよ、ロバート。そしてまた数兆円の借金をしています。米国のみなさん、私の子どもたち、アメリカの若者たちにとっては、本当に気の毒なことです。
彼らは、どうやってその事態に対処していくんでしょうか？

1920年当時、イギリスは世界で最も裕福で強大な国でした。その後、イギリスは同じことをし始めて、おかしくなっていき、今ではトップ20にすら入っていません。当時のイギリスと今のイギリスとでは生活水準が劇的に違います。だからこそ、私はアメリカの若者がかわいそうだと思うんです。もちろん、あなたも私もかわいそうだと思うんですが、若者が特に気の毒です。

ロバート：この質問をさせてください。前に別の方と議論をしたのですが、その方は「これは1929年か19年の大恐慌のようだ」と言っていました。そして、私はこう言ったんです。「一つの違いは、当時は企業が自然死していったことです。今回は全員が”殺されたんです”。今回は、みなさんを救うためにどれだけのお金を印刷しなければならないか分かりません。みんなが身動きが取れなくなってしまったのですから」と。1929年と2020年の差について、あなたの見解が気になるところです。

ジム：まあ、いくら刷らないといけないかに関しては、具体的な質問に戻ってくると思いますが、日銀では、「無制限に印刷する」と言っていました。「日銀の頭取が印刷機を回して、全力でお金を刷っている」と私もさっき言いましたよね。

そして、イギリスは「必要なことは何でもする」と言っており、それはEUも同じです。みんな印刷機を回しています。そして、ワシントンで何が起きているのか知っていますよね。

「どのくらいかかるのか？」これは残念ながら、アメリカ、そして他のみなさんが全てを閉鎖し、甚大な被害が出ているので、回復するのは非常に難しいでしょう。

ここで一つ小話をしましょう。何百万人もの人々に関わる話です。シンガポールでミシュランのレストランをいくつか持っていて、成功しているレストラン経営者がいます。彼はワインセラーを売らなければいけませんでした。私も一部を買っているんですが。とにかく、今は状況があまりにも悪すぎる。彼が再開できるかどうかはわ

かりません。再開しても 200 万ドルの借金を背負うことになるし、今までの人生で借金をしたことがないんです。つまり、これは小さなレストランの経営者を例にしただけで、世界中の多くの企業、多くの人々、多くの家族に与えられたダメージなんです。

あなたの言うとおり、1929 年と今では大きな違いがあります。1929 年と今のもう一つの違いは、当時のアメリカは大した借金をしていなかったということです。私たちアメリカは今、世界史上最大の債務国となっており、その額を着々と増やしています。11 月に選挙があることを知っていますか？彼らは皆、再選することだけを気にして、私やあなたのことなんか気にていませんよ。子どもたちのことも気にていません。再選されることだけを気にしているんです。私はそれ以上のことを気にしていますけどね…。

ロバート：連邦政府は大量のお金を印刷しています。量的緩和をしていては、金利を下げ続けることはできません。出血を止めるためには、もっと刷らないといけなくなるでしょう。あなたには未来が見えていますか？

ジム：ロバート、私はそれで生計を立てているんですよ（笑）未来は見ようとしなければいけないんです。つまり、何が起こるかを予想しないといけません。

しかし、まず第一に、この巨大な崩壊というのは大きな反発につながることがあります。それが市場のあり方だからです。今、誰もがお金を刷って、できるだけ早く支出して、またお金を刷っているので、市場は上昇しています。

しかし、最終的には、繰り返しになりますが、アメリカでは 11 月に選挙があります。誰もそれに反対はしないでしょう。

しかし、どこかの時点で市場は「ちょっと待て、この光景は見たことがあるぞ。もうこのゲームには乗らない」と言うでしょう。そして、最後に大きな一歩を踏み出すことになります。それはきっと恐ろしいものになるはずです。

なぜなら、借金は驚異的なほどあり、お金も大量に刷られているからです。考えられる可能性としては、最近、現代貨幣理論（MMT）と呼ばれる新しい貨幣理論があります。基本的には、誰もが知っていることは全て問題ではない、つまりお金を大量に刷っても問題ではないという理論です。ストレスが多い時代には、奇妙な考えが出てきて、それに従うようになるものです。

マーカスという人物は奇妙な考え方を持っていて、多くの人がしばらくの間それを試しました。うまくはいっていませんが、長い間、試し続けています。だから、同じようなことが起こって、日銀のようにお金を印刷し続けるかもしれません。印刷を止めることはできないし、他も同じことをして、負債が巨額になってしまうのではないかと懸念しています。そして、私は自分がアメリカ国民とは言いたくないんですが、アメリカがイギリスと同じような道を歩むのは嫌です。

その道に進みそうな気がするのですが…。

ロバート：まあ、日本に関しては、私はあなたについて行きましたね。いや、私はあなたよりも先に行っていましたが、あなたが『日本の未来』という本を出版して、日本への警告をしてくれたんです。

そして、実は私は日本人々と話をするのに気が引けていたので、あなたがバックアップしてくれたことが嬉し

かったんです。だから、あなたがフォローしてくれたことに感謝しています。でも、かなり悲しいことですよね。日本人は生産性が高く、教育も受けているのに、経済が衰退していますから。

ジム：世界で一番好きな国の一つですよ。日本に行くのは好きだけど、あなたの言うとおりです。日本はこの先どうなるのか？私には何が起こるか分かります。日本は今、衰退の一途をたどっているのです。借金は毎日のように急増し、人口は減少している。10年前から人口が減っている、子供を産まない、移民を受け入れない。日本で起こっていることは全く好ましいとは思えません。でも、確かにしばらくの間は平気かもしれないですが、50年後は…？50年後にはどこで寿司が食べられるのでしょうか…？どうなっているのでしょうか…？

それは日本だけでなく、欧米の国でもそうなんです。欧米諸国のいくつかの国で何が起こっているかご覧になっていますか？ドイツの都市でさえも、今問題を抱えています。イリノイ州も心配ですが。ドイツですよ！私が子供の頃は、ドイツやスイスほど健全な国はなかったのですが、今は両方ともおかしくなっています。

ロバート：何か知恵や予想していること、励ましの言葉はありますか？

ジム：The Rich Dad Radio Show を聞きましょう（笑）それが私の知恵です。

まあ、それは置いといて…私が何をしているのか教えてあげましょう。ロバート、あなたは他人の話など聞くべきではないことはお分かりですよね。自分がよく知るものにのみ投資すべきなんです。インターネットやテレビ、ラジオ、新聞で誰かの話を聞くのは、賢くないでしょう。ホットな情報に頼っていると貧乏になるだけです。私は数ヶ月前からまた金と銀を買っていますし、多くの米ドルも所有しています。先ほど、アメリカが困っている、悪くなっているという理由をお伝えしました。君は賢い人だから、なぜ米ドルを所有しているのか、と聞くでしょうね。米ドルは健全じゃないけど、私は所有しています。なぜなら、米ドルは歴史的な理由から、安全な避難所と考えられているからです。

私はユーロやポンドなどを買うつもりはありませんよ。だから、私はたくさんの米ドルを所有していますが、米ドルは値上がりして、バブルになるかもしれません。賢く良さそうなところで売って、そのお金を他に突っ込みたいと思っています。

そうですね、農業です。昨日、世界中の資産を見ていたんですが、特に農業やコモディティが一番安いんじゃないかなと。債券はバブルだし、株は大体のところで安くはありません。アメリカの株式市場は2月に史上最高値を更新したから、一時期少し下がったとはいえるかもしれません。というか、ロバート、みんな農家になった方がいいのではないですかね？そんな余裕も時間もないんですけどね（笑）

ロシアを見てみましょう。私は昨日、ロシアでも中国でも株を買ったのですが、ロシア市場は嫌われていますね。私は、何かが嫌われているときに、注目してみるのが好きなんです。中国市場は最高値から60%も下落しています。日本でさえもそうです。日本は最高値から50%も下落しています。日本は災難を目の前にしていますが、それはもう上昇できないという意味ではありません。日銀の方が私より金持ちだから、日銀が毎日株を買っているなら僕も手伝うべきかもしれない。これらは私がやっていることの一部です。けれど、他人が知っていることではなく、自分が知っていることをやるべきだと思います。

ロバート：そうですね。世界は経験したことのない地点にいます。私が『Investment Biker』の話から始めた理由は、あなたは自分の足を使って世界を見てきたからです。この世界で何が起こっているのか、できるだけ解説して頂きたいのです。The Rich Dad Radio Show の視聴者は世界中にいます。あなたもご存知のように、アメリカ人はアメリカからアメリカを見ているだけです。後半では、ジムの見解をさらに聞いていきます。



「キャッシュフロー・クワドラント」



私は、投資家であることに喜びを感じている。これは私見だが、キャッシュフロー・クワドラントの中で最も知的で、最も収益性が高く、最も楽しいセクションだ。私は、E、S、またはB（それは別の種類の楽しみであると確信しているが）のクワドラントに戻ることは考えられなかった。

皆さんはこのクワドラントについて、既に知っているとは思うが、念のためもう一度セクションを整理してみよう。

E（従業員）クワドラントは、世界の大半を占める一般的な従業員のことを指し、安定した給与、福利厚生、退職金、401 k（確定拠出年金）などが与えられる。午前9時から午後5時の労働者で、より高い生活水準を求めて、リスクを負うよりも、予測可能性と安全性を重視する傾向がある。

S（自営業者）クワドラントは、「自営業」「スマールビジネス」「スペシャリスト」のことを指し、基本的には、この中では一番賢いだろう。高度な訓練を受け、博識であり、卓越したスキルを備えている。仕事を正確にやり遂げたいと思えば、自分で行う必要があるという信念を持つ傾向がある。（人には任せずに、その仕事は自分しかできないと思い込んでいる）

もし、あなたのチームにこのようなタイプの人がいる場合、お金を払うだけの価値はあるかもしれないが、彼らはほとんどが革新的ではないし、専門知識のコンフォート・ゾーン（快適な空間）から外に踏み出そうとするタイプでもない。自分たちでスマールビジネスを始めることは勇敢だったかもしれないが、通常、ある程度の成功で停滞し、基本的にはフルタイム（またはそれ以上）の仕事を自分たちで手に入れるまでは誰かに委任することも拡大することもせずに、多くを引き受けてしまうだろう。このような人々は、最終的に「E」クワドラントにいる人たちよりも自由度が低く、ストレスも多い。

B（ビッグビジネス）クワドラントは、500人以上の従業員、大企業、国際的取引をしていることを指しており、「B」クワドラントは、金持ち父さん貧乏父さんの主役が本格的に始動する場所である。GE、アマゾン、HP、ホンダ、これらの企業は、人類の方向性そのものを変えるレベルまでアイデアを拡張してきた。それらの企業は極めて稀な主導者であり、その力と影響力を行使する者たちだ。彼らの商取引は、国全体の政策やライフスタイルを変えることができる。キャッシュフロー・クワドラントで「S」から「B」に移行するには、単なる失敗でなく大きな失敗を犯すことに対するビジョンと勇気が必要だ。失敗してもいい、転んだとしても何度も何度もやってみる、という精神が必要である。

I (投資家) クワドラントは、お気に入りの クワドラントで、私はここに属している。数百人の従業員の管理も、週80時間の労働も、午前9時から午後5時の勤務スケジュールも無い。投資家クワドラントは、リサーチ、教育、そしてチャンスを見極める能力が結果につながる場所である。あなたは、他人の才能から利益を得て、ビジョンを持った人たちの大きなアイデアに資金を提供する。これは、実質的な収益が得られる領域であり、全てあなたの条件とスケジュールに基づいている。あなたが、お金を働かせて寝ている間に、文字どおり「億万長者」になれる人生を送りたいなら、あなたはここを目指すべきだ。

クワドラントは、私たちが今日の経済生活をどのように生きるかを示す指針であると同時に、人類の歴史における行動や社会構造の窓口でもある。

そして、現代のビジネスと密接に結びついていると仮定しているが、E、S、B、Iは、実質的に歴史上のどの時代にも当てはめることができる。例えば、中世を見てみよう。

E - 農奴と土地を耕す農民

S - 職人：鍛冶屋、地図製作者、革職人、書記

B - 周辺の領地の領主と法廷弁護士

I - 自宅で快適に暮らしている間に、王国を拡大するための軍隊や探検に資金を提供する大貴族と君主

【Part2】

ロバート：ジムの世界観は他の誰とも違うので、彼の話には誰もが耳を傾けます。私が別の友人と話していたのは、予測することではなく、準備することだということです。今日、あなたの視点で世界経済を見て、私たちが踏み入れたこの新しい世界に備えるためのアドバイスはありますか？

ジム：ロバート、あなたが言ったことは非常に重要なことです。皆さんにも、今起こっていることについて知識を持つ必要があることを忘れないで頂きたいと思います。The Rich Dad Radio Show を聴いてもいいし、知識を身につけるためなら何でも良いのですが、2020年には外で何が起こっているかについて知識を身につければいけません。これは非常に重要なことです。特に今は、ロバートが言うように「これまでに経験のない事態」だからです。一旦知識を得てしまえば、今回の事態を「大変だ」と言うようになるでしょうし、不安になるでしょう。そして、とても心配になつたら、準備をし始めるんです。

ロバート：わかりました、では、あなたの視点をお聞きします。中国についてどう思いますか？中国の今の状況はどうでしょう？

ジム：中国はここ数年、数十年で最悪の経済問題を抱えています。私たちが知る限りでは、中国はそれほど悪い仕事はしていません。数字を信用すれば、中国はどこよりもうまくウイルスの封じ込めをしています。金利もまだ維持しています。中国はまだおかしくなっていないんです。とにかく、中国には適切な金利がある。インフラ整備にお金を使っていますが、世界の他の国、日本やアメリカなどとは違います。中国人は、どんな理由であれ、まだ多少の制約があり稳健なんです。彼らがその気になれば、より多くの武器を手に入れることができます。手に入れて欲しくはないですが…。

今のところ、日本市場は60%下落していますが、日本市場はそれほど悪い仕事をしていません。先ほど言ったように、私は昨日、日本株をいくらか買いました。市場は60%下落しているので、さらに買い足したいと思っています。私は上昇しているものではなく、下落しているものを買うことが好きなんです。

ロバート：それから、ロシアはどうなっているのでしょうか？

ジム：ご存知のようにロシアは嫌われています。あなたがロシアと言えば、誰もが部屋を出て行き、あなたと話したいとは思わないでしょう。今朝、友人と話していて、ロシアで何かエキサイティングなことが起きていると話していたら、彼は冷戦の話をし始めました。彼はお年寄りで、50代か60代なんですが、冷戦をまだ覚えており、ロシアが変わったことを受け入れることができないんです。

ロシアは災難です。そして嫌われています。莫大な天然資源を持っているし、大した借金もありません。誰も共産主義者に金を貸さないから、ロシアは日本やアメリカ、イギリスなど世界の他の国のように巨額の借金をしていません。だから、そこにはチャンスがあるのです。ポジティブな変化が起きていることが分かります。だから、昨日ロシア株をいくらか買いました。

ロバート：それから、サウジアラビアとロシアの関係についてはどう思いますか？何があったのかは分からぬけど、何かがありましたよね。

ジム：まあ、何があったかはどうでもいいんですが、結果は分かっています。原油価格が下がり、サウジアラビアにとっては非常に悪いことになっています。彼らは権力を維持するために驚異的な金額を費やしてきましたが、これは彼らに大きな打撃を与えることになります。ロシアを助けないのは難しいですが、ロシアには他のものがあります。ロシアには農業があり、しかも盛んになっています。特朗普氏は2、3年前にロシアに制裁を加えましたが、ロシアの農家は毎日、「ありがとう、特朗普さん」と言っています。ロシアの農業が活況を呈しているのは、ロシア人を傷つけるためのアメリカの制裁によるものです。ロシア人は石油以外にも多くのものを持っています。だから、実はロシアは傷を負っていないのです。彼らは自身の経済の一部に助けられています。

だから、私は世界中を見渡して、生き残れそうな場所を見つけようとしています。私は何も大きな買い物をするつもりはないですよ。前にも言いましたが、この反発は、しばらく続くと予想していますが、世界経済に巨大な構造的ダメージが与えられているので、最終的にはこれで終わらないと思います。

ところで、原油価格の暴落は、中国、日本、韓国、ドイツのような国を助けています。石油を使う人々は、毎朝「これは素晴らしいことだ」と言っていますよ。サウジアラビアやテキサスには嬉しいことではないですが、一部の人には助けになります。

ロバート：では、イギリスはどうでしょう？

ジム：イギリスには良い思い出がありますが、残念なことに、イギリスは莫大な借金を積み上げてしまいました。イギリスがEUを離脱して成功したのを見て、スコットランドが今、離脱を望んでいます。イギリスが分裂する可能性は十分にあります。イギリスが「United Kingdom」になって数百年しか経っていないことを知っていますよね。また分裂する可能性もありますし、そうなると売るものが少なくなってしまいます。

スコットランドは石油を手に入れるでしょうね。すると、イギリスは世界に売るものがなくなります。そして、北アイルランドは去って行くでしょうね。100年前のアイルランド島は、宗教上の理由で憎み合っていましたから。まあ、それはもうどうでもよくなつて、今では友好的になってきていますが。とにかく、北アイルランドも去つて行くでしょうね。こんなことは言いたくないですが、歴史は止められません。私はイギリスが大好きなのですが、歴史は私が好きなものなど気にしないですからね。

ロバート：ドイツはどうですか？

ジム：先ほども言いましたが、ドイツのいくつかの都市でさえ、今は大きな負債問題を抱えています。それでもヨーロッパ諸国の中では、まだ健全な国の一つかと思います。メルケル首相は、労働者を必要とし、若者が必要であることを理解しているので、移民を受け入れています。他のヨーロッパの多くの国よりはドイツの方がやや健全ではないでしょうか。しかし、ロバート、私が言いたいのは、窓の外を見ても、ヨーロッパは見えませんが、実はほとんどの国が深刻な問題を抱えていることがわかります。世界の半分は大きな変化の真っ只中にあります。それは歴史的に見ても常にそうだったんです。私たちは、それを認識し、適応することを学ばないといけま

せん。

ロバート：カナダはどうですか？

ジム：カナダですね。非常に興味深い、良い質問です。カナダについては、もっと考える必要があります。カナダには広大な天然資源があります。負債はありますが、他の国ほどではありません。また、移民の受け入れも行っています。移民は常に国にとって良いものです。移民は、新しいエネルギー、新しい頭脳、新しい考え方、新しい資本をもたらしてくれるんです。アメリカが良い国になったのも移民のおかげです。100年前や150年前、アメリカに来る者には土地を与え、そしてアメリカに来てもらうように懇願して、世界で最も成功した国になったのです。

歴史上、移民を受け入れた国はうまくやってきましたが、鎖国した国は、好むと好まざるとに関わらず、衰退の一途をたどってきました。歴史を見ればそれは一目瞭然です。カナダは移民を好んでいますし、移民を受け入れる余地は十分にあり、巨大な天然資源を持っているので、今はカナダをよく見るべきなのかもしれないですね。しばらくカナダを見てなかったので気付かせてくれてありがとう。ほら、ロバート、The Rich Dad Radio Show を聴くべきだと言ったとおりでしょう。

ロバート：そうですね（笑）最後になりましたが、NAFTAのパートナー、メキシコはどうでしょうか。

ジム：メキシコはあまり公表していませんが、石油への依存度が高いんです。人口は今も増え続けていますし。現在の数字はわかりませんが、予算の40%は原油価格に依存しています。原油価格が暴落しているので、メキシコは今後もっと深刻な問題を抱えることになるでしょう。石油経済だとはあまり考えられていませんが、政府の収入の大部分は原油価格と人口の増加に依存しています。ですから、あなたがおっしゃったカナダとメキシコのうち、将来的にはメキシコではなく、少なくとも2020年の春には、カナダに目を向けることをお勧めしたいと思います。

ロバート：では、オーストラリアやニュージーランドはどうですか？そこに注目していますか？

ジム：いや、していません。オーストラリアにも天然資源があります。オーストラリアは幸運な国だと自称していますが、政治家の質はアメリカより悪いんです。信じがたいことですよね？アメリカより悪い政治家は他の国にもいるんでしょうが、オーストラリアの政治家は逃げているんです。彼らは逃げているし、巨額の負債を抱え続けているんです。そして、しばらくの間、移民を減らしています。オーストラリアは移民に助けられていました。おそらくニュージーランドの方がいいと思いますが、ニュージーランドの人口は500万人しかいません。500万人の人口と6000万匹の羊しかいないんですよ。だから、ニュージーランドは素晴らしい場所だと思うけれど、私はニュージーランドに全財産をつぎ込むことはしないですね。

ロバート：最後に人口統計学的な質問ですが、ベビーブーマーの世代がリタイヤし始めていますよね？これに関しては気にかけていますか？年金はどうですか？上院議員であるマコーネル氏の出身地であるケンタッキー州では、年金資金が16%から9%になっています。マコーネルが破産に言及すると、民主党は「消防士や警察官、教師の年金は取り上げるな！」と言い出しました。

これには注目していますか？なぜなら、世界規模では、2020年から2030年の間に約20億人が「定年」を迎えるからです。この問題には注目していますか？

ジム：注目せざるを得ませんよ。先ほども日本の話をしましたが、10年前から人口が減少していて、30年前から借金が急増しています。日本は深刻な問題を抱えているんです。

他国の例を先に見てみましょう。ヨーロッパの多くの国では毎月デモが行われています。なぜなら、すべての高齢者が30年前、40年前、20年前に多くのことを約束されていたからです。政治家は全てを約束していました。今、老人たちは年を取り、当時約束されたことを期待しています。しかし、イタリア、フランスなどヨーロッパのほとんどの国には、当時約束したものはありません。だから、私たちはますます問題を抱えているんです。

アメリカでは、イリノイ州が年金によって破産しています。イリノイ州だけじゃなくて、コネチカット州もですね。私が子供の頃、コネチカット州は健全な州でしたが、今では実質的に破産しています。カリフォルニア、イリノイ、先ほどケンタッキーの名前が出ましたが、今は実質的に破綻しているところがたくさんあります。

このままではどうなるのでしょうか？年寄りは幸せにはなれません。息子や娘も祖父母や両親の面倒を見ないといけないので幸せにはなれません。先ほども言いましたが、1920年にはイギリスは世界で最も裕福で強大な国でしたが、その後、蓄積された問題が次々と襲い掛かってきて、金を使うとか、そういうことをし始めました。その話の続きを知っているでしょう、ロバート。言いたくはないですが、もし、皆が事実を無視したら、深刻な問題になっていきますよ。

アジアが他の国よりも悪い状況になっていないのは、巨額の借金をしていないからです。日本は別ですが。アジアのほとんどの国は欧米のように巨額の借金をしていません。アジアの一部には人口問題を抱えているところもありますが、残念ながら最悪の人口問題を抱えているのはヨーロッパと日本です。日本で起きていることから見て学ぶことができます。

繰り返しになりますが、10年間も日本の人口は減少し続けているのです。これは、これまでの歴史の中で一度も起きたことがないことです。世界全体がこの大きな人口動態の時限爆弾に直面していて、多くの借金を抱えています。我々が22歳じゃなくて良かったですよ、ロバート。若者や私の子どもたちには気の毒ですが、20年後、30年後には混乱に陥っているでしょうね。

ロバート：そうですね。まあ、とにかくあなたの知恵と洞察力には本当に感謝しています。そして、人々が前を向いて前を向いて歩けるように、励まし続けてくれることにも。

ジム：言ったでしょう。ロバートの話を聞けば良いのですよ。ホットな情報には耳を貸さないこと！あなたが知っていることを信じてください。

ロバート：ありがとう、ジム。

金持ち父さん貧乏父さんミニコラム

—コロナ恐慌から学ぶ— 「お金持ちと貧乏な人の決定的な違い」

貧乏父さんは、こんなことを言っていました。

「お金がないから投資ができない。」「お金がないときは、自分の時間を投資するんだ。」

多くの場合、人々は投資をする時間がありません。なぜでしょうか？

その理由は、長い時間一生懸命働けば、お金持ちになれると思っているからです。

もちろん、これは真実ではありません。

以下のポイントについて考えてみてください。

- ・アメリカの平均的な労働者の年間の労働時間は1,804時間（世界の中でもトップ）
- ・56%の人が在宅勤務をしている
- ・20%の人が平日は毎日働く
- ・25%の人が去年、休暇を取得していない
- ・43%の人が1週間以上の休暇を取得していない

この数字では、1960年以降、アメリカ人の生産性は400%も上昇しているということを示しています。そしてそこには、仕事に疲れ、時間に縛られながらも、「お金」を追い求めているアメリカ人がいることがわかります。

しかし、中間層の賃金にはインフレの上昇は反映されておらず、むしろ下がる傾向にあります。

米国の経済政策研究所によると、「1973年から2013年にかけて典型的な労働者（工場で働く労働者、非管理職の従業員）の時間給の上昇率は9%にすぎず、一方で、生産性は74%も上昇している」と報告がされています。

そうなんです。明らかに、長時間働くことがもっとお金を稼げるということには繋がっていませんよね。

あなたはどのように自分の時間を使っていますか？

今日、残念ながら（幸いなことかもしれません）、あなたが自分のために使える時間は以前よりも増えています。今も、依然として、コロナウイルスが世界中に蔓延しています。

前例のない 3600 万人が失業申請をおこない、全米のほぼ全員が、感染が落ち着くまで在宅勤務という状況です。

就業中の間でも、これまでと比較すると、時間に余裕があります。

社会的な活動はほぼ中止になったので、夕方や週末の時間がかなり自由に使えます。

それでも、最初に述べたように、一生懸命働くことがお金をもっと稼ぐことになるという考え方を持っている人、子供を自宅でみながら共働きしている家庭では、ストレスが大きくなっているということはいうまでもありません。

この危機の中では、「一生懸命働けば仕事が続けられる」という気持ちになるのでしょうか。

しかし、多くの人は、これが真実ではなかったことにお気づきだと思います。

興味深いことに、優秀な従業員の多くが、毎日、オンライン会議に多くの時間を割き、普段よりも疲労が大きくなっています。「Zoom 疲れ」という言葉さえ登場しました。

職を失った人は、仕事探しに時間を使ったり、Netflix を観ることに時間を使ったりしています。

ちなみに、Netflix は、3月末から過去最高の成長記録を更新しています。また、ビデオゲームユーザーの数も急上昇しています。ほとんどの人が自分を成長させるために時間を使っていません。

これが、この危機で多くの人が、貧乏になり、貧乏だった人がより貧乏になってしまう理由です。

貧乏な人は、お金のために働き、自分の時間を使う

「なぜそんなに一生懸命に働くのか」「なぜ仕事を探しているのか」と、この危機で失業した 2500 万人の人尋ねると、このように返答するでしょう。

「お金のためだ。」

これは、定期的に給料が入ることで生活が安定すると思っているということです。

お金を稼ぐための主な理由の一つが、学位を取ることです。

自分が好きでもない、給料の高い仕事を得るために、何千ドルもの学生ローンを背負うのです。彼らは、起きている時間を好きでもない仕事のために使っています。自分の好きなことができるるのは仕事が終わってからです。

この問題点は、自分が働いた分だけしかお金が入らないということです。あなたの時間は、あなたが唯一提供できる価値のあるものです。

お金をもっと稼ぐには、長い時間働くしかない。それは、身体的に負担のかかることです。従業員では、時間とエネルギーに限りがあるので、稼げる金額も無限ではありません。

それにしても、これは残念な投資です。

時間という限りがあるものを渡して、お金を手に入れようと考えるのはお勧めしません。お金持ちは、時間というものの、そして、時間の使い方について、貧乏な人と全く違う考えを持っています。

お金持ちと貧乏な人の決定的な違いは？

お金持ちに「働く目的は？」と尋ねると、「資産のため」と答えるでしょう。これは、ほとんど働かないで、着実なキャッシュフローを毎月生み出す投資やビジネスのことです。

お金のために人生を費やすのではありません。お金の教育で得た知識を使って、お金を働かせる方法を理解するために働くのです。

簡単に言うと、お金持ちはお金のためには働くことなく、お金を働かせてお金を生み出すのです。資産を増やすために働くことは、給料のために働くこととは大きく違います。

例えば、資産を増やすために、今よりも仕事時間を増やしたり、もっと一生懸命働いたりする必要はありません。お金の知識があるほど、質の高い資産を購入するために働く時間が減ります。

そして、お金がお金持ちのために働くのです。

目標を設定してお金を稼ぐ方法

これは、お金持ちは働かないと言っているのではなく、働き方が違うと言っているだけです。毎年、妻のキムと私は、新しい資産をいくつ購入するかについて、一緒に目標を設定します。

ここで大切なことは、お金をもっと稼ぐために目標を作らない、もっと稼げる仕事を探すために時間を使わない、ということです。

それは、「質の良い資産を見つけることだけに集中する」ということです。良い資産が見つかれば、資産を購入してからも、何年にもわたりお金が入ってきます。

キムと私は、何年もの間、ゆっくりとかつ着実にポートフォリオを構築し、お金の教育に時間を投資してきました。お金に関して、常に十分な余裕があったわけではありません。お金の知識も、今ほどはありませんでした。

しかし、金持ち父さんがしたように、お金がなくても、自分の時間を仕事に使うのではなく、お金の教養を増や

し、お金の知識を高めるために使いました。

経済的に余裕のある将来のために、自分の時間を投資したのです。今では毎年、不労所得で何百万ドルものお金を稼いでいます。

お金が私たちのために働いているのです。

未来のお金持ちを目指して、あなたの時間を投資しよう

あなたの「考え方」というのは、将来、価値が絶対に下がらない、世界で唯一の財産です。考え方というのは常に改善できます。そして、無限のリターンが期待できます。学び、成長することを続け、お金の考え方を変え続ける。

これって素晴らしいことですよね。この成長に終わりはありません。

そこで、リッチ・ダッド・カンパニーでは、考え方を養うこと、お金の教養を高めることを経済的な自由を獲得するための最も大切な最初のステップだと考えています。

その資産に投資すること。

つまり、あなたの教養を高め、新しいことを学び、今までにない新しい経験に挑戦し、積極的に知識を増やすために時間を投資すること。今の時代、素晴らしいことに、お金に関する考え方を変えるために自分に投資しても、さほど費用はかかりません。

色々なオンラインコースや無料の講義があるので、毎日でも自分に投資することができますし、その見返りから恩恵を受けることもできます。

早速、お金の教育を始めて、資産のパワーを使って、あなたの将来を創造してください。

< 免責事項 >

- ・当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資判断や運用戦略のご検討にあたり参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、実際の投資等に関する最終的なご決定はお客様ご自身のご判断で行って頂きますようお願い致します。
- ・当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資におけるいかなる利益も保証するものではなく、また、投資の結果によってお客様が思わぬ損害を被る可能性もあるため、投資を行われる際にはお客様ご自身で投資のリスクを慎重に検討されますよう併せてお願い致します。
- ・当社の商品、およびコンテンツに掲載されている情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等によっておりますが、当社がこれらの情報の正確性等について、全て、独自に検証しているわけではありません。当社はこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・默示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。当社は、当社の商品、およびコンテンツの内容及び提供、並びにお客様による第三者への開示等について、お客様その他当社の商品、およびコンテンツの閲覧者に生じた一切の損害、損失又は費用について、損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害結果損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含め、これらについて債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何を問わず、何ら責任あるいは義務を負わないものとします。
- ・当社の商品、およびコンテンツ中における、シミュレーションやバックテストについては参考データ等のご提供を目的として作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

Rich Dad Poor Dad Letter 6 月号 - Part2

発行日 2020年6月

著 者 ロバート・キヨサキ

発行者 寺本隆裕

発行所 APJ Media 合同会社

大阪府大阪市中央区南船場2丁目5番12号

クリスタファイブ 10F

©2020 APJ Media, LLC All rights reserved.

※この電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。